

フジコールIP錠

製品の特徴

フジコールIP錠は、発熱、のどの痛み、頭痛や関節の痛みをおさえるイブプロフェン、せき、たんなどのかぜの諸症状を改善する3つの生薬、ビタミンを配合した総合かぜ薬です。

⚠ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります。)

1. 次の方は服用しないでください。
 - (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人
 - (2) 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人
 - (3) 15才未満の小児
 - (4) 出産予定日12週以内の妊婦
2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないでください。
他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等（鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬等）
3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください。
(眠気等があらわれることがあります。)
4. 授乳中の方は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けてください。
5. 服用前後は飲酒しないでください。
6. 5日間を超えて服用しないでください。



相談すること

1. 次の方は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
 - (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人
 - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人
 - (3) 高齢者
 - (4) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人
 - (5) 次の症状のある人
高熱、むくみ、排尿困難
 - (6) 次の診断を受けた人
甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、緑内障、全身性エリテマトーデス、混合性結合組織病、呼吸機能障害、閉塞性睡眠時無呼吸症候群、肥満症
 - (7) 次の病気にかかったことのある人
胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン病
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性がありますので、直ちに服用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ、青あざができる
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振、胃部不快感、胃痛、口内炎、胸やけ、胃もたれ、胃腸出血、腹痛、下痢、血便
精神神経系	めまい
循環器	動悸
呼吸器	息切れ
泌尿器	排尿困難
その他	目のかすみ、耳なり、むくみ、鼻血、歯ぐきの出血、出血が止まりにくい、出血、背中痛み、過度の体温低下、からだがだるい

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛（節々が痛む）、下痢等があらわれる。
無菌性髄膜炎	首すじのつっぱりを伴った激しい頭痛、発熱、吐き気・嘔吐等があらわれる。（このような症状は、特に全身性エリテマトーデス又は混合性結合組織病の治療を受けている人で多く報告されている。）

間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
偽アルドステロン症、ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらくらとする、血尿等があらわれる。
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。
呼吸抑制	息切れ、息苦しさ等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがありますので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

便秘、口のかわき、眠気

4. 5～6回服用しても症状がよくなりえない場合は服用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

効能・効果

かぜの諸症状（発熱、のどの痛み、鼻水、くしゃみ、鼻づまり、せき、たん、悪寒（発熱によるさむけ）、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み）の緩和

用法・用量

1 回下記量を食後なるべく30分以内に、水又はお湯と一緒に服用してください。

年齢	1 回量	1 日服用回数
大人（15才以上）	4 錠	3 回
15才未満	服用させないでください	

〈用法・用量に関する注意〉用法・用量を厳守してください。

成分とはたらき

成 分	分量 (12錠中)	はたらき
イブプロフェン	450mg	炎症や痛みのもとプロスタグランジンにはたらき、熱を下げ、のどの痛みなどをおさえます。
クロルフェニラミンマレイン酸塩	7.5mg	抗ヒスタミン作用により、くしゃみ、鼻水、鼻づまりをしずめます。
ジヒドロコデインリン酸塩	24mg	せき中枢に作用し、せきをおさえます。
dℓ-メチルエフェドリン塩酸塩	60mg	気管支をひろげて、たんを出しやすくし、せきもしずめます。
無水カフェイン	75mg	頭痛をやわらげます。
ビタミンC	300mg	かぜにより消耗しがちなビタミン類を補います。
ビタミンB ₁ 硝酸塩	24mg	
ビタミンB ₂ リン酸エステル	12mg	
カンゾウエキス (原生薬換算量2400mg)	800mg	せきをしずめ、たんや、のどの痛みをやわらげます。
ケイヒ末	400mg	発汗作用があり熱を下げ、痛みをやわらげます。
ショウキョウ末	200mg	発汗を促して熱を下げます。

添加物として、ヒドロキシプロピルセルロース、ゼラチン、炭酸Ca、タルク、無水ケイ酸、カルメロースCa、ヒプロメロース、ステアリン酸Mg、マクロゴール、白糖、ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール、アラビアゴム、カルナウバロウを含有します。

〈成分・分量に関する注意〉

- (1) 本剤の服用により尿が黄色になることがあります。これはビタミンB₂リン酸エステルによるもので、心配ありません。
- (2) 本剤の服用により、尿及び大便の検査値に影響をおよぼすことがありますので、尿及び大便の検査を受ける場合には、ビタミンCを含有する本剤を服用していることを医師にお知らせください。

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。（誤用の原因になったり品質が変わります。）
- (4) 錠剤をぬれた手で扱わないでください。
- (5) ぬれた錠剤は瓶に戻さないでください。
- (6) 使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。
- (7) 瓶の詰め物は、輸送中の内容物の破損を防ぐためのものです。開封後は不要となりますので、取りのぞいてください。

●ワンポイント情報

かぜは、からだの抵抗力が低下した時に起こりやすい急性炎症の一種です。“かぜは万病のもと”といわれるように、長引かせると、体力を消耗し悪循環を起こし、いろいろな病気の原因にもなります。栄養バランスのよい食事を心がけ、十分な睡眠をとり、からだの抵抗力の回復を助けて、長引かせないようにすることが大切です。



お問い合わせ先

本剤についてのお問い合わせは、お買い求めの販売店又は下記までご連絡をいただきますようお願い申し上げます。

湧永製薬株式会社 お客様相談室

☎ 0570-666-170

受付時間 9時～12時、13時～17時（土、日、祝日を除く）

販売元
湧永製薬株式会社
広島県安芸高田市甲田町下甲立1624
本社：大阪市淀川区宮原4丁目5-36
http://www.wakunaga.co.jp/

製造販売元
三宝製薬株式会社
東京都新宿区下落合2-3-18